

●●株式会社 品質保証部門御中(ソフト系企業)

2011年1月19日

(社)日本能率協会 担当：●●

御社ご依頼の「ヒューマン・エラー対策研修(案)」に関する実施スケジュール送付の件  
拝啓

貴社いよいよご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より小会の各種企画に対しご参加、並びに、ご支援を賜りありがとうございます。さて、早速でございますが、題記に関し、下記にて研修スケジュールの詳細を拝送させていただきます。ご検討よろしく  
お願い申し上げます。簡単ながら、題記に関する実施内容(案)の送付まで。

敬具

### 記

#### 1, 研修に関する内容

- ① テーマと実施日時：「ヒューマン・エラーゼロ対策セミナー」 2011年2月16日
- ② 場所：御社研修室にて 9:30~17:30
- ③ 研修に盛り込むべき事項：(1)日本的ヒューマン・エラーゼロ対策の理解、(2)一流企業他社の取り組み、(3)演習+発表による相互交流~レベル向上対策

#### 2, 研修スケジュール

	項目と時間	主要研修項目	求めるアウトプット
1	品質改善の歴史 9:30~10:15	① 戦後~1960年：検査品質~TQC活動 ② 1970~80年：ZD~ストップひも対策 ③ 1990~現在：ISO9001~IT活用	日本の品質改善の努力をビデオと共に追 い、全体を把握する
2	一流他社の 品質管理 10:15~11:15	① 品質保証のあるべき姿 ② 過去の事件と落穂による体制固め ③ 自己責任と顧客志向の大切さ	落穂の精神を歴史的 に追い、精神面~実 務対策の一助とする
3	ヒューマン・エラー (HE)ゼロ対策の 技術(解説と演習) 11:25~16:30	① やってはいけない『死亡診断対策』 ② HE対策前に必要な標準化の扱い ③ 5M段階改善法とポカヨケ対策 ④ HEゼロ対策ステップと手順分析 ⑤ QTAT対策 ⑥ 大脳生理学~CRM対策 ⑦ HEゼロへ向けたデザイン・イン対策	ヒューマン・エラー 発生防止対策を是正 (事後)→発生時点→ 予防の順に進め、具 体的な応用の一助と する
4	実務課題の解析 16:40~17:30	御社の事例(是正対策事例)をご持参願ひ、 習ったことを活用~実務展開へ向ける	グループ演習形式巡 回指導~理解増強へ

注釈：上表 No. 4 の事例研究は御社でご準備をお願い致します。なお、研修後に実務展開を

される場合はデザイン・イン「リスク対策演習」に切り替えますので、ご判断をお願い致します。

**3, 担当講師：**研修に関する技術的な内容は直接講師宛ご連絡をお願い致します。

(社)日本能率協会 専任講師 中村 茂弘

TEL:03-3434-6616、FAX : 03-3434-1275

E-Mail: s\_nakamura@mtc.biglobe.ne.jp

なお、席にいることが少ないため、できれば E-Mail でのご連絡をお願い致します。  
講師の方からお電話させていただきます。

**4, 研修時の準備へのお願い：**

- ① 座席とグループ編成： 当日は講義～演習の繰り返しで進めます。このため、御社にて事前にご出席者のグループ（3～6名/g）編成をお願い申し上げます。
- ② 研修スケジュール No.4に御社のケースご利用の場合、ご準備をお願い致します。
- ③ 機材類：プロジェクター、白板とペン

**5, 費用など**

- ① 担当：(社)日本能率協会 ●●

連絡先：●●

- ② 研修講師費：●●円（但し、交通、昼食費は含まず、御社にてご負担願います）
- ③ テキストと演習題は事前にお届けしますので、御社にてコピーなどご準備をお願い致します（テキスト作成費は含みません）

以上